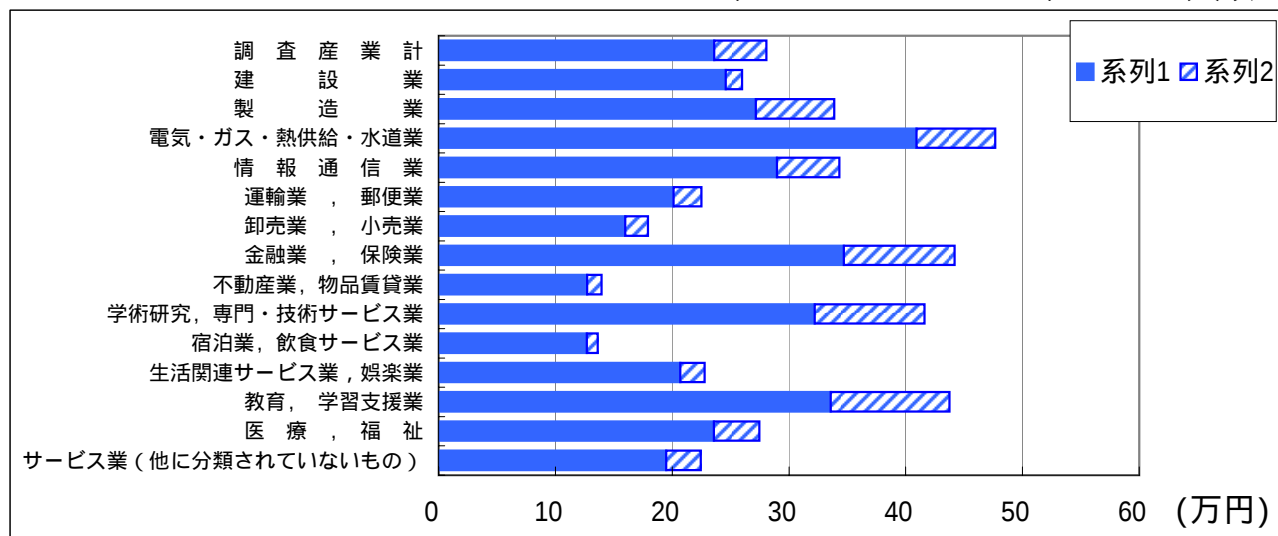


労働諸条件の概況

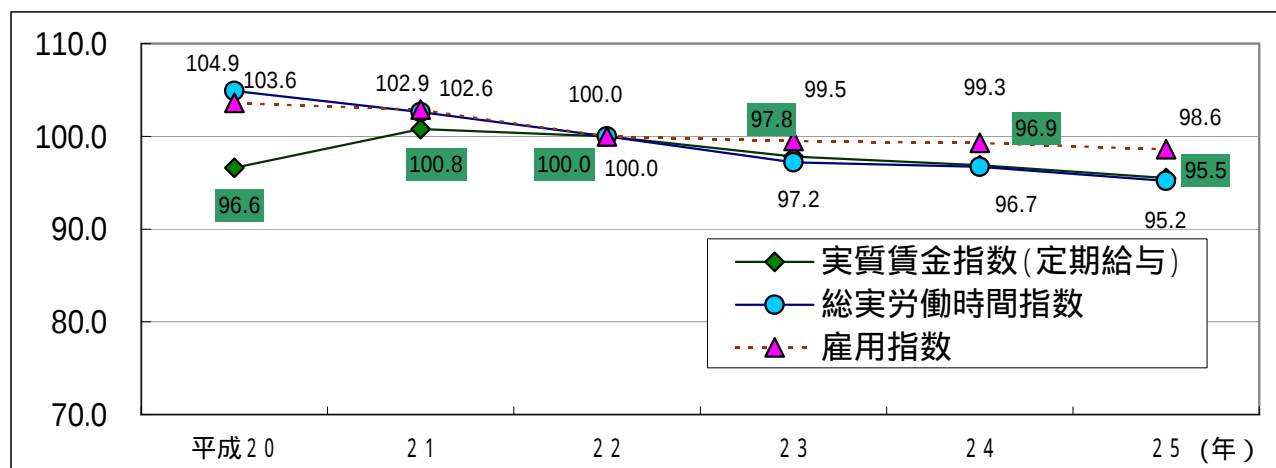
現金給与総額の産業別比較（平成25年平均月額）

30人以上



注 「鉱業，採石業，砂利採取業」「複合サービス業」は秘匿のため掲載していない。

指数の推移（調査産業計・平成22年＝100）



1 賃金

平成25年の一人平均月間現金給与総額は、調査産業計で280,992円となり、前年比は名目1.5%減少、実質で1.7%の減であった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は235,905円で、前年比は名目、1.2%の減少、実質で1.4%の減であった。

2 労働時間及び出勤日数

平成25年の一人平均月間総実労働時間は、調査産業計で150.3時間となり、前年比は1.6%減であった。このうち所定内労働時間は138.1時間で前年比は1.8%減少で、所定外労働時間は12.2時間で前年比は2.1%増であった。

なお、一人平均月間出勤日数は19.4日で前年比0.3%減であった。

3 常用雇用

常用労働者の調査産業計は216,741人であり、前年比は0.7%減であった。

注）平成22年1月より平成19年11月に改訂された日本標準産業分類により表章している。

対前年比については、指数をもとに算定しているため、実数値から算定される数値とは必ずしも一致しない。

（県統計課）